

周術期管理センターを 受診される方へ

奈良県立医科大学附属病院
周術期管理センター

もくじ

周術期管理センターとは	1
周術期管理チーム	2
周術期管理センター受診	3
診察・面談内容	4
● 看護師による面談	
● 麻酔科医による説明	
薬剤師による薬剤管理	5
口腔機能管理について	6
リハビリテーションについて	7
栄養管理について	8
医療相談室について	9
地域医療連携室について	10
臨床工学技士について	11
手術後の受診について	12

周術期管理センターとは

- 「周術期」とは、手術を受ける患者さんの手術前・手術中・手術後の期間をいいます。
- 当センターでは、患者さんが安全・安心な周術期を過ごせるよう、術前の全身状態の確認や手術に向けた準備・術中の全身管理・術後ケアなどを行っています。
- 周術期管理センターでは、手術にのぞむ患者さんの状態に合わせて様々な職種がチームを組み、周術期のサポートをいたします。

周術期管理チーム



看護師



医師

(外科医・麻酔科医・口腔外科医)



薬剤師



患者さん



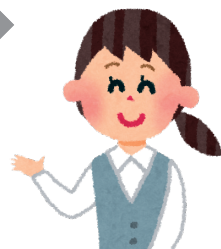
歯科衛生士



管理栄養士



理学療法士・臨床工学技士・
医療相談室・地域医療連携室



医療事務

周術期管理センター受診

手術前

手術が決まったら周術期管理センターを受診して頂きます。

問診票の記入



看護師の面談

(必要に応じて専門の担当者へ紹介させていただきます)

- 薬剤師による薬剤管理
- 麻酔科医による診察
- 歯科医師・歯科衛生士の面談
- リハビリテーション
- 栄養管理
- 医療相談
- 地域医療連携
- 臨床工学技士



診察・面談内容

看護師による面談

手術・入院に対して気になる事をお伺いします。
必要に応じて専門の担当者へ紹介させていただきます。



麻酔科医による説明

患者さんの問診と診察をさせていただき、麻酔に関する説明を行います（別パンフレット）。
手術前の身体状況によっては、入院してからの診察になる場合もあります。



薬剤師による薬剤管理

現在、患者さんが飲まれている薬の確認をします（市販薬・サプリメント含む）。

患者さんのお薬の中に、手術の1～2週間前に中止しないといけない薬^{注)}が含まれている場合、気づかずに飲み続けると手術を延期する可能性があります。「お薬手帳」か「お薬の現物」を持参いただき、薬剤師が確認させていただきます。

*お薬手帳やお薬の現物など確認できるものがない場合は、後日受診していただく場合があります。

注) 代表的な薬として、血液を固めにくくする薬が挙げられます。ただし、患者さんの状態によっては中止できない場合もあります。



口腔機能管理について

口の中には約100億の細菌がいます。

普段はお身体の抵抗力で抑えられていることで、あまり悪さはしません。

しかし、手術により免疫力が低下することで、口・肺・血液中などで口の中の細菌が感染症を起こす可能性があります。

それらを防ぐために手術前にお口の状態を見せていただいています。主に口の中の清掃を行っています。

主な対象は心臓血管呼吸器外科手術・頭頸部/消化器がん手術・臓器移植手術を受けられる患者さんですが、ご希望があれば他の手術を受けられる患者さんにも行わせていただきます。

手術前に口の中に不安がある方は、
気軽にご相談ください。



リハビリテーションについて

必要に応じて手術前から
リハビリ専門職が関わります

↓
心肺系・運動器系機能の
確認及び訓練

- ① 呼吸器合併症
(肺炎など)予防
- ② 筋力の維持

↓
手 術

↓
手術翌日から
リハビリ開始

- ① 離床訓練
- ② 積極的な呼吸練習
- ③ 筋力の維持・改善

↓
社会復帰に向けて
取り組みます！！



栄養管理について

栄養状態を良好に保つことは、手術後の順調な回復のためにも、たいへん重要です。

そのため、術前に栄養不良が疑われる方（極端にやせている方や最近急に体重が減った方など）には、管理栄養士が栄養状態の確認をしています。

術後も、状態に合わせて栄養補給方法や摂取栄養量の過不足などについて確認し、主治医に報告や提言をします。

また、必要に応じて面談や病室訪問、栄養指導などもおこなっています。



医療相談室について

医療相談室ではソーシャルワーカーが、下記の医療費助成制度などについて、ご案内します。

- 国が指定した難病
- 育成医療、更生医療
- 高額療養費 など

※医療費の概算はわかりかねますので、ご了承ください。

*詳しくは1階ドトール前、8番:総合相談窓口（医療相談室）でご相談ください。

地域医療連携室について

地域医療連携室の担当者（ソーシャルワーカー・看護師）から以下のような場合に説明させていただきます。

具体的には、

- ①病院の働きや役割分担について
- ②訪問診療、訪問看護などのサービス利用について
- ③地域医療連携パスについて

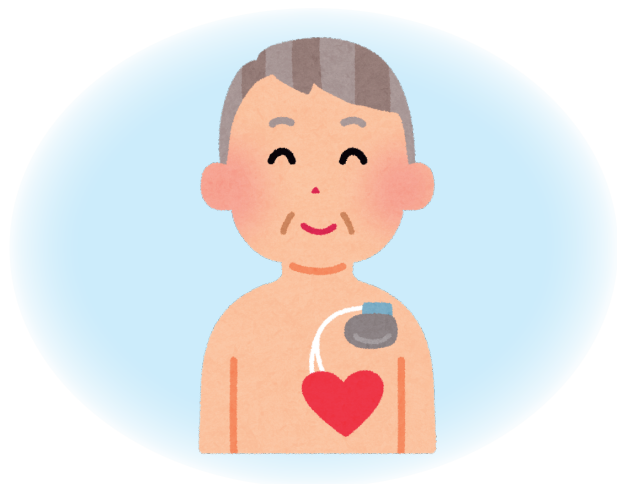


臨床工学技士について

ペースメーカーや植え込み型除細動器（ICD）などを留置されている患者さんを対象としています。

循環器内科医師から臨床工学技士へと連携しています。

主に、手術前の設定変更や手術中の管理、手術後の設定変更などを行っています。



手術後の受診について

手術翌日～数日後にもう一度、周術期管理センターを受診して頂きます。

手術後の患者さんの状態・ご意見・ご感想をお聞きしています。



おわりに

周術期管理センターでは、術後の合併症を予防して早期社会復帰できるように、患者さんがより良い状態で手術にのぞみ、安心・安楽な周術期を過ごしていただけるように取り組んでまいります。

ご不明な点がございましたら、おたずねください。

奈良県立医科大学附属病院

周術期管理センター

代表 0744-22-3051 (内線3287)



